



## 一 昭和日常博物館 一 北名古屋市歴史民俗資料館

北名古屋市歴史民俗資料館は「昭和日常博物館」の愛称で親しまれる、昭和時代の日用品を展示する博物館です。昭和時代をすごした方には懐かしく、昭和時代を知らない若者にとっても、昭和レトロな雰囲気を十分に味わうことができます。昭和30年代の商店や茶の間を再現した空間は、足を踏み入れた瞬間、タイムスリップしたような感覚に浸れます。

入館料無料で見どころ満載の昭和日常博物館。小さなお子様からご年配の方まで、幅広く楽しむことができる博物館です。ぜひ足を運んでみてください。

建物の1～2階が北名古屋市図書館、資料館は3階にあります。

2階のロビーにも一部展示スペースがあります。「地域を知る collection」として北名古屋市能田旭古墳出土資料をはじめとする考古資料が展示されています。「北名古屋市」の誕生に関する記録資料も展示されています。



地下1階駐車場にも展示スペースがありますよ！昭和時代の旧車がずらり！！



### お出かけ回想法がおすすめ！

回想法は、懐かしい資料を見ながら、その当手を思い出し、語り合うことで、脳が活性化し認知症予防にも効果があるとされているものです。資料館に出かけて、さまざまな懐かしい展示物を見て回って、回想法を体験してみませんか？

- 住所 愛知県北名古屋市熊之庄御榎 53
- アクセス 名鉄「西春駅」から徒歩25分 または「きたバス」けやき(東部)線「市役所東庁舎」で下車スグ(運賃100円先払い)  
無料駐車場あり
- 開館時間 午前9時から午後5時まで
- 休館日 月曜(月曜が祝日の場合は開館)、年末年始、館内整理日など
- 入館無料

[昭和日常博物館 公式サイト \(kitanagoya.lg.jp\)](http://kitanagoya.lg.jp)



階段またはエレベーターで3階にあがるとオート三輪、ダイハツ「ミゼット」がお出迎え。駄菓子屋さんや電気屋さん、自転車屋さんなどが立ち並び、昭和30年代の街並みが再現されています。



「おはようの朝。」「今日も元気に学校へ！」「給食の脱脂粉乳。」など、テーマごとに展示がされています。昔のおもちゃ、教材、お菓子やレトルト商品の箱など本来なら捨てられてしまいそうなものまで展示されています。応接間や茶の間、台所などが再現されている空間もあります。13万点を超える収蔵資料があり、約1万点が展示されています。



### 編集者見学コメント

昔のランドセルは男の子が黒、女の子が赤で、今は色んな色から選べるというイメージが強かったけど、かぶせの部分に絵が描かれているおしゃれなモノや、今よりも小さいランドセルが使用されていたとは！(Hさん)



60年前乗車していた「スバル360」通称 TENTOUMUSHI が綺麗な姿で展示してあり感激しました。スバル360は戦時中の富士重工業の航空技術を駆使した空冷2サイクルエンジンの車両は当時他の自動車メーカーの車と比べ最高の技術と思います。それから60年、現在の車両の日進月歩は驚くばかりです。(Oさん)

幼い頃には親戚の家で、田を耕すために牛を飼っていて、いつの間にか牛がいなくなり、耕運機がその小屋に置かれ、自転車より数倍速く走れるオートバイも耕運機と並んで置かれるようになり、村に数軒しか持っていないミゼットが四輪車になりました。やがて、一軒に一台から、一人一台以上の車を持つ時代がやってきました。そして、電話も。何も無い時から有線放送、普通電話、ポケベル、スマホなどへと、世の中の変遷を、目の当たりに見て来たのだなあと感じています。(Yさん)

